

プールで泳げない夏休み

酷暑のため連日高温となり、予定されていたプール開放がほとんどできない夏休みとなりました。それにともない夏休みの学習もなくなりました。ほんの数日実施できた際に、それぞれに意欲的な子どもの姿があったので尚更残念です。プールサイドの気温、そして水温ともに高く、もし開放しても安全に泳げる保障ができない状況での判断でした。ご理解ください。

今後もこのような気候が続くようであれば、来年度に向けて夏休みの生活のあり方について見直していかなばならないと思われます。その一つの方向が『午前中のプール開放』でしょうか。今年度もこのことについて検討はしたものの、バスの運行時間や、当番職員の勤務時間の調整等にかかわる困難点があり、一歩進められないでいたことからではあります。また、子どもさんの生活リズムを考えたとき、午前中に泳ぐということがどうなのか（疲れて学習や一研究に取り組みにくくなる等）ということも懸念されます。しかし、プール開放を何とか実施するにはほかに方法がないように思えます。来年度に向けて、保護者の皆様のお考えもお聞きしながら考えて参ります。

夏休み 子どもたちのがんばり

厳しい暑さの中ではありませんでしたが、子どもたちのがんばる姿、生き生きと活動する姿に出会うことができました。

【夏休みの学習】予定回数を随分下回ってしまいましたが、多くの子どもさんが、何に取り組むかの準備をして参加できました。そして課題に意欲的に取り組む姿を見ることができました。教師に、問題の解き方で自分の困っていることについて相談する姿もありました。



【からくりやしき 7/30】とても手の込んだ設定、手間のかかった場づくりがされていました。一通り遊び終えても、子どもたちが立ち去らない理由は、「子どもたちが遊び込んで、作りこんで最終日にこの『からくり屋敷』は完成するのです」というコンセプト（新海先生談）にありました。楽しい遊び道具やダンボール迷路などを手作りしたり、遊び場に思い思いに絵を描いたり

色を塗ったりと生き生きと楽しむ子どもたちでした。

準備も当日の運営もすばらしかったです。図書館の先生方をはじめ携わってくださった皆様ありがとうございました。

【サマーナイト・フェスティバル 8/3】冷房を入れていただき、夏休み練習が校舎内で行えるようになりました。しかし、連日の猛暑の中を学校に来る子どもたちは大変だったことでしょう。でも、練習にもとてもまじめに熱心に取り組みました。



本番では自信あふれる演奏ができました。演奏

の機会を重ねる度に、一步一步高まっていく子どもの姿が感じられました。

保護者の皆様も炎天下での応援をいただきありがとうございました。

【おみっこ元気クラブ】竹を使って水鉄砲の手作りをした後、川に入って水遊びを楽しみました。村教委や公民館の方々や信州大学の学生さんに準備や



支援をしていただき、今や子どもたちだけではできなくなった貴重な経験ができました。筑北中女子バレーボール部の皆さんがトレーニングで通りかかり、かつては自分たちもこの行事に参加させていただいた懐かしさや水恋しさいっぱいの様子でした。

夏休み中に子どもさんに事故に遭ったり病気になったりしたという連絡がないことを何より嬉しく思います。曇り空のためちよっぴり過ごしやすくなった夏休みのおわりを、元気に過ごしていただけることでしょう。

そして、二学期スタート

手に手に工作作品や、研究まとめの模造紙、重そうに膨らんだ手提げ袋などを提げて、元気に登校する子どもたちの姿がありました。



始業式では、2年生臼井晴香さん、4年生久保田洸星くん、6年生臼井喜音くんが二学期がんばりたいことを堂々と発表しました。85日ある二学期には、運動会やマラソン大会、遠足や社会見学、6年生の修学旅行など、学校行事も多くあります。麻績小学校50周年記念式典もあります。更なる子どもさんの活躍や成長が楽しみです。二学期もよろしくお願い申し上げます。